

1日目(11月25日) のんきさんのレクチャーノート

アニメをつくろう！ — コマ撮りアニメーションアプリ「ストップモーションスタジオ (Stop Motion Studio)」を使ってみる

<レクチャーで説明されたこと>

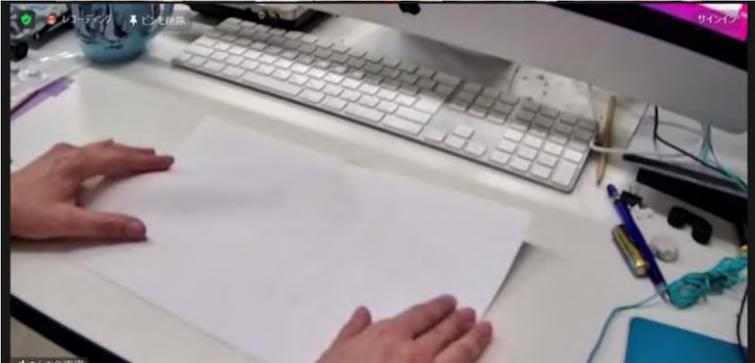
「ストップモーションスタジオ (Stop Motion Studio)」というアプリをためしに使う。

ここが「撮影(さつえい)のステージ」。

わたしが「**ステージ**」という時は、このように紙が置かれたようなところ。

ステージの大きさは、だいたい A4 サイズの紙 (210x300 mm) くらい。

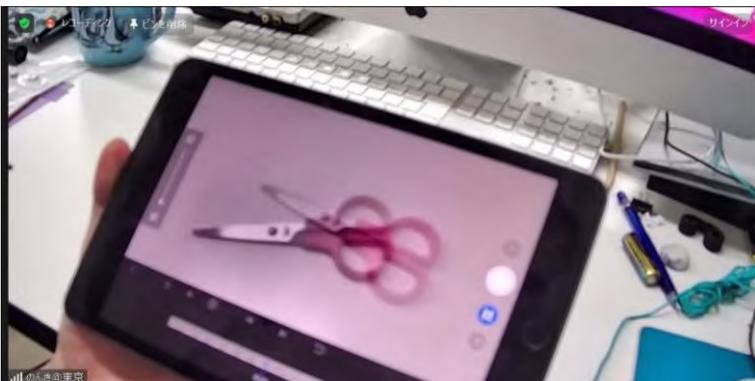
机の上に物を置かないで、かたづける。



テスト撮影のテーマ(お題)は、小さいモノを動かす。

こういう映像をつくってほしい。

https://drive.google.com/file/d/1zsxU4EB--t_Gkt442xyOINxb_omYP5_F/view?usp=sharing



**なにもないところから、自分が選んだモノが出てきて、どこかへ消えていき、最後はなににもなくなる・・・
というアニメーションを練習で撮ってほしい。**

シャッターボタンをなん回押すか、なん枚を撮影するかは、みんなが自由に考えて撮る。
撮ってみて、もっとたくさん撮りたかったと感じてくれたら、それでよい。

これから、アプリのはじめ方とムービーの書き出し方までを説明する。

準備 (じゅんび)

「ストップモーションスタジオ (Stop Motion Studio)」のアプリは、フィルム撮影カメラのようなマーク。
マークの色は、無料版か有料版かで違う。無料版は青色。

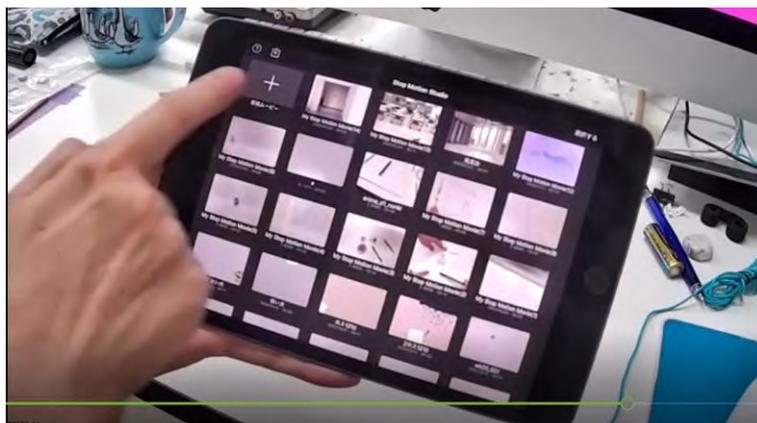
ダウンロードするのは無料(むりょう)でよい。



マークのアイコンをタップしてアプリを起動する。

「メニュー」の画面になる。

メニューに撮影したデータがすべて表示される。撮影後にムービーデータへの変換(へんかん、変更)ができる。左上の「+ (プラス)」マーク、「新規(しんき)ムービー」をタップする。

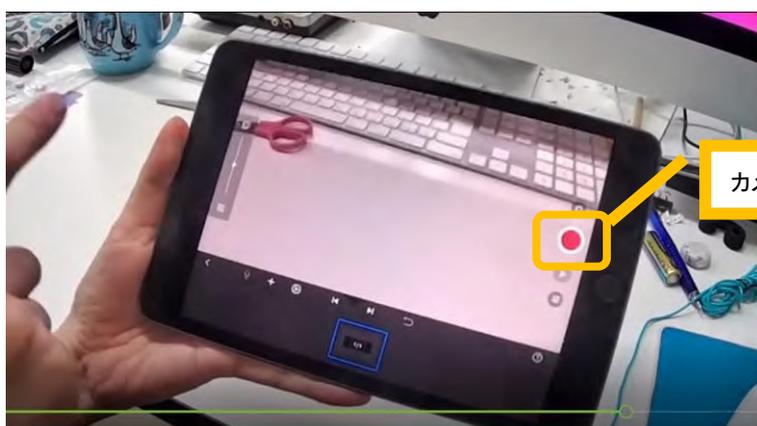


(iOS なら) スマホやタブレットのカメラで撮影できるモードになる。

(Android なら) 撮影したものを確認するプレビューのモードになる。右上にある「カメラ」のマークをタップする。

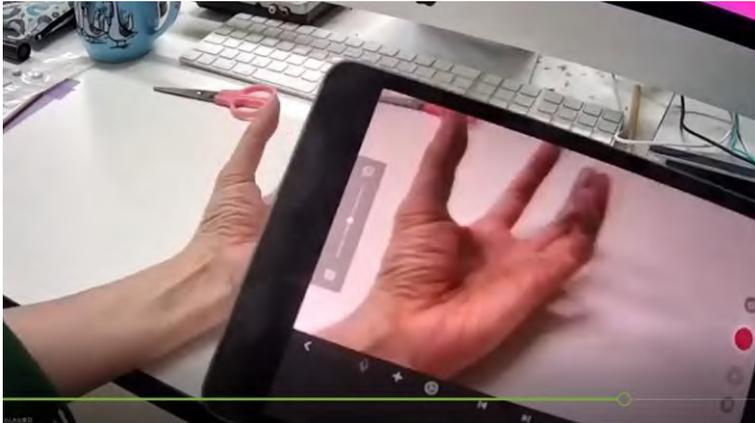
撮影モードの右側に、**赤い丸(●)のシャッター**が現れる。

カメラがとらえたものが、スマホやタブレットの画面に映る。



カメラを動かしながら、どこに映るか、レンズと被写体(うつすもの)とを確認する。

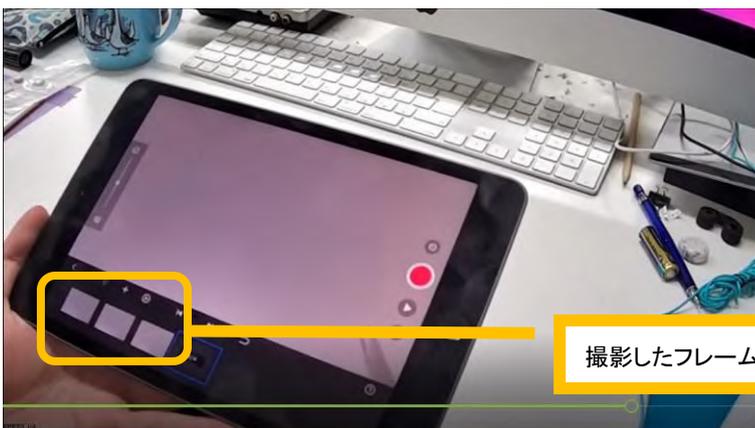
スマホやタブレットのカメラレンズは本体の端(はじ)についている。モノを真ん中に置いていてもズれる。気をつけて。どこから、どこまでが写るかを確認する。



撮影(さつえい)

シャッター(赤い●)を押すと撮影できる。

なにもないところを撮影してみよう。はじめはゆっくりとスタートするとよい。1回では少ない。ゆっくりというのは、枚数を多く撮影する、つまりなん度もシャッターを押す。シャッターを押すと、パシャと音がする。わたしは3回押してみる(フレームが3枚できる)。



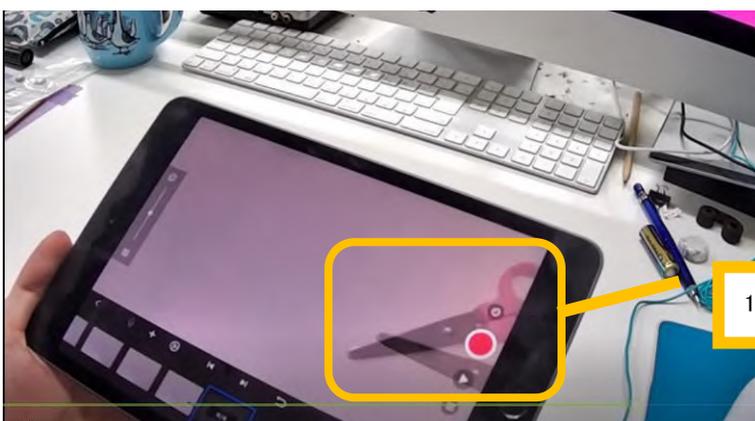
被写体(写すもの)を少しずつ動かして撮影する。

どこからモノを出して、どのようにモノを動かし、どこへモノを消えさせるかを考えながら撮影する。

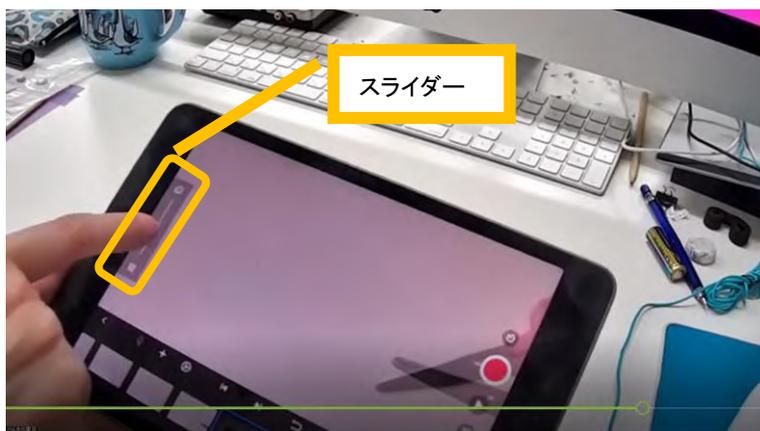
オニオンスキン

1つ前に撮ったモノ(フレーム)が、うすい影(かげ)として見える。

「オニオンスキン」は、モノをどのくらいの間隔や向きで動かすかを考えるのに役立つ。

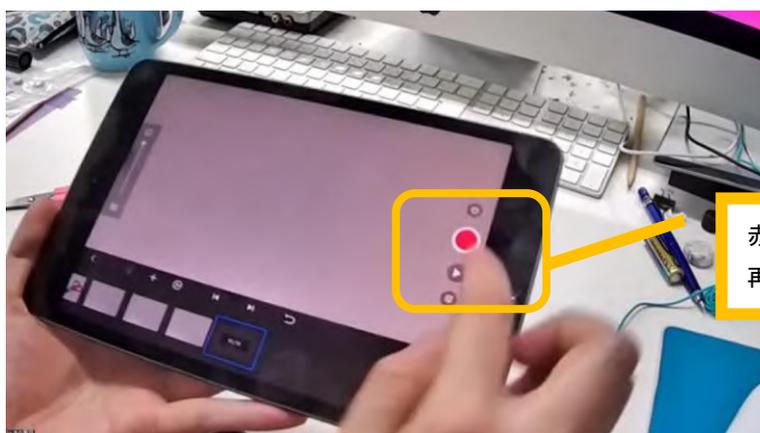


左にある**スライダー**を動かすと、1つ前に写したもの(フレーム)の濃度(のうど、こさ)を調整できる。
スライダーが一番上にあると影(かげ)は見えない。



モノが見えなくなったら、最初と同じように、「なにもないところ」を3回撮影する。
「3回」と決まってははいない。自分で考えて撮ってほしい。

どのように撮影できたかは、「再生(さいせい)」して確認する。



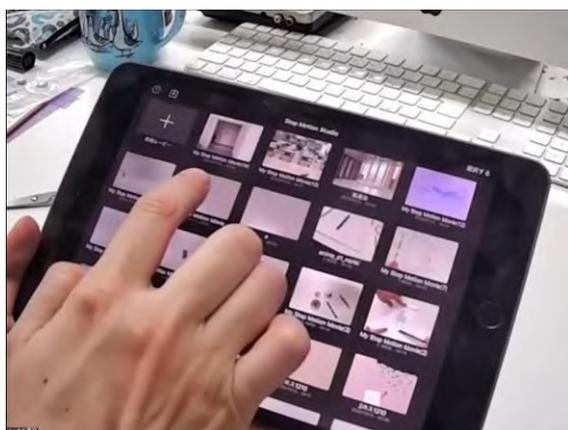
書き出し(かきだし)

撮影できたら、「ストップモーションスタジオ」のデータから「ムービー」のデータへ書き出す(変換する)。

左上の**矢印(←)**をタップすると、一番最初のモードにもどる。

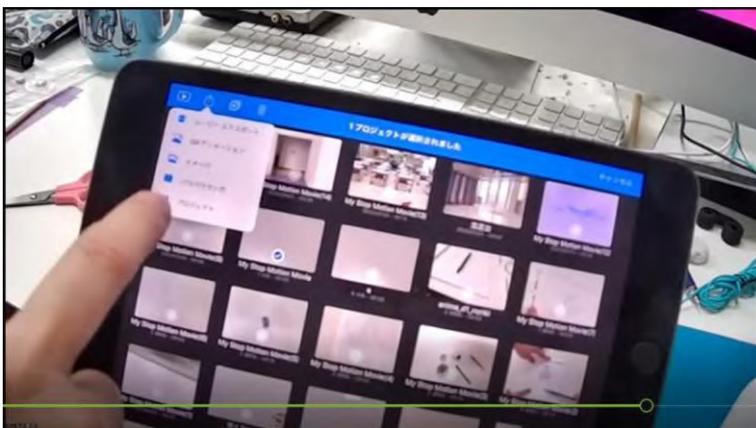
書き出しは OS (Android, iOS) により、操作の画面とやり方が少しちがう。

(iOS では) 書き出したい、ムービーにしたい画を長く押すと、メニューが出る。





メニューが表示されたら、フィルムのようなマークがついた「ムービーエクスポート」を選ぶ。
スマホやタブレットの中で保存先を選ぶ。



(iOS なら)MOV のデータ、(Android なら)PM4 のデータで保存される。

ムービーファイルになれば、Slack や YouTube にアップできる。

ムービーに書き出す時は、ファイルに名前をつける。ひとさんが決める「ファイル名のルール」で名前をつけてください。

撮影のヒント

アニメ撮影の練習は 5 分間くらいでやってみよう。

モノを動かす時に、そのモノがなにをしているのか？を考えながら動かすとよいかも。

球体やコロコロと転がるモノを固定するには、はったり・はがしがりができる粘着剤(日本なら、ひっつき虫)やセロハンテープを小さく丸めてつけると転がらない。

絵がうまくかけないひと・・・

丸いシールに黒い点を書いて貼り付ると、キャラクターになる。モノをキャラクターとして、歩く(散歩する)だけでもいい。

絵をえがいてもよいし、モノをキャラクターと思って動かしてみてもよい。

いまは練習なので、自分の感覚を遊ばせながら、好きなように試してください。



カメラの位置(いち)、カメラと被写体(うつすもの)との距離

スマホやタブレットのカメラをステージに近づけると、撮影できる範囲が狭くなる。そしてキャラクターが大きく写る。カメラを遠ざけると、広い範囲を撮影できる。

だいたいなポイント:

- 絵をかくなら、絵の大きさとステージの大きさ(撮影できる範囲)のバランスを考えてキャラクターなどの大きさを決める。
- カメラの位置とステージとの距離(あいだ)を考えながら撮影してみよう。アニメ制作の本番では、カメラの位置を決めたら、距離が変わらないようにカメラを固定(こてい)するとよい。



カメラをステージから離す(遠くにする)



カメラをステージに近づける

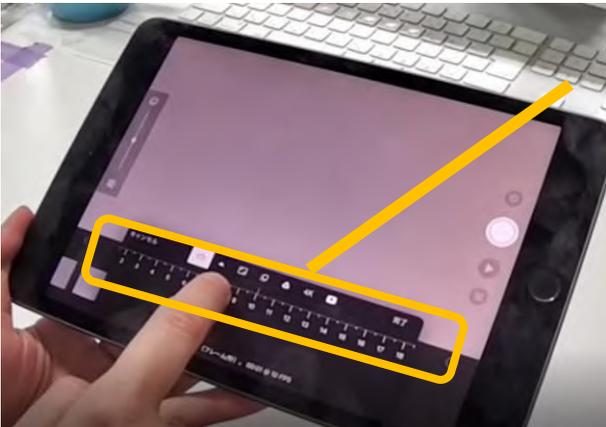
動きをゆっくり、なめらかにする=撮影速度(さつえいそくど)を調整する

撮影の速度を変えると、キャラクターの動きを速くしたり、ゆっくりにできる。

画面の下にあるメニューから、歯車(⚙️)マークを選ぶ。

スライダーで数字を選ぶ。

1秒間に撮影する枚数=フレームレート(fps、frame per second)という。



撮影速度を変えるメニュー

数字が大きくなると、1秒間に撮影する枚数が増える
つまり、より多く撮影しないと「1秒間のアニメ」にならない
撮影枚数を増やすと、なめらかな動きになる
手書き(てがき)アニメでは中割(なかわり)と言って、フレームから次のフレームへ動きを変えるときに、どのくらいなめらかにしたいか考えながら絵をえがく
しかし、絵の枚数を増やすと作業の時間が増え、期日(しめきり)に間に合わないこともあるから、注意しよう

- ハリウッドのアニメーション映画のフレームレート: 24fps (24フレーム撮影すると、1秒のアニメになる)
- 日本のテレビアニメのフレームレート: 12fps くらい
- みんなのコマ撮りアニメ: 8fps くらいで OK !

ストップモーションスタジオの操作(使い方)も見てみよう

準備: はじめてのコマ撮り(アプリでコマ撮りをはじめる) — のんきさんの解説 >>

http://alljp.org/guidance/point/descript_stopmotion1

準備: コマ撮りアプリ「ストップモーションスタジオ」の操作 — こども、日本語学習者向け解説 >>

http://alljp.org/guidance/point/descript_stopmotion1/kantansms

JAA(日本動画協会)アニメーション・キャラバンの解説ビデオ >> <https://www.youtube.com/watch?v=1HEBI3iFZN4>

カメラの固定(うごかないようにする)

グループのアニメを撮影する時は、スマホやタブレットを動かないようにする。
カメラを固定して、画面や動きがブレないようにする。



アニメテッドラーニングらぼのウェブサイトに出ている、ステージとカメラの準備のやり方を見てください。
家にある道具や材料で準備できる。

準備:カメラ(スマホ、タブレット)と撮影ステージを設営する>> http://alljp.org/guidance/point/descript_camera

準備:カメラ横置きとカメラ上置きとは>> http://alljp.org/guidance/point/column_camera

準備:動画解説カメラ、撮影ステージ、照明の設営>>

http://alljp.org/guidance/point/descript_camera/video-instructions

完成した練習アニメーションを見よう>> <https://youtu.be/CyZWu-esDVc>

(のんきさんがつなぎ合わせ編集をしました)

こまった時、こんなことやってみたい!と考えた時は、グループのメンバーと話してみよう!

講師やグループリーダーにも聞いてみよう!

のんきさん・・・アニメの制作

スーさん・・・マンガ的な表現

さとーさん・・・映像(ライブアクションなど)の制作

senyaさん、ニンさん、たかさん、メイさん、シトウさん・・・グループの話し合いに入って、みんなを助けてくれます

のんき(荒井知恵)